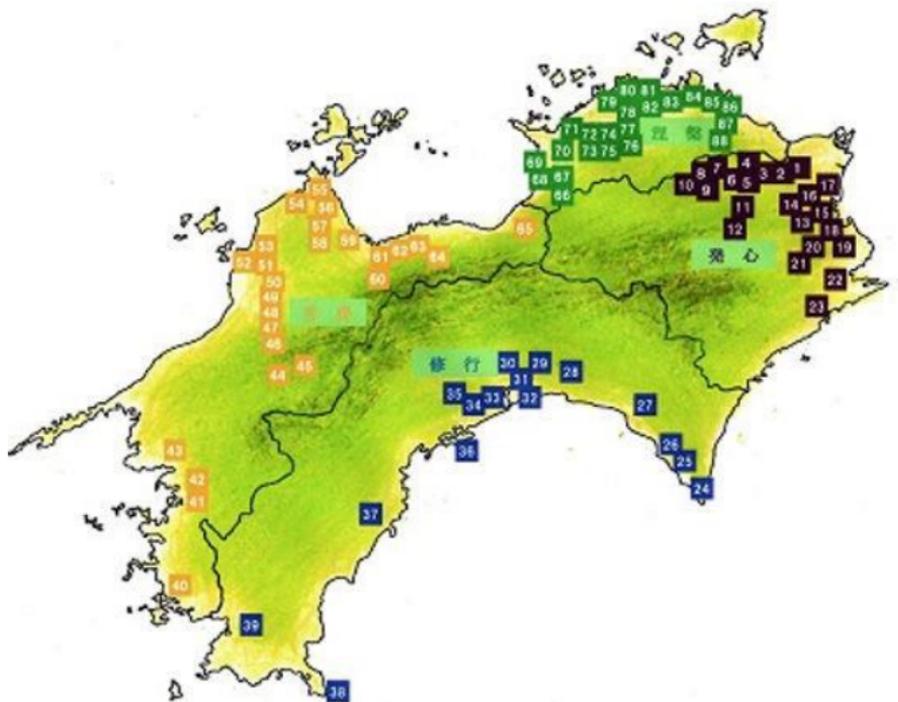


# 四国遍路～空海 1250年



## ● 霊峰高野山紀行 2023

空海入定の地・高野山を守護している女神が存在する。今回はその「ニウツヒメ(丹生都比売)神社」に参拝してから、高野山に登ることにした。

午前2時45分徳島港から南海フェリーに乗船、午前5時頃和歌山港に到着。近くの24時間レストランで休憩、朝食をとった後、ニウツヒメ神社に向かった。

高野口から天野(あまの)盆地に入ると、なだらかな山里の風景が広がる。

「天野」という名称は神々の集う「高天原」を模したのであろうか。それに地図を見ると高野山の周辺には「丹生(ニウ)」という名のつく地名や神社が複数ある。



ニウツヒメ神社の輪橋



ニウツヒメ神社の創建は1700年以上も前とのこと。

境内横の小川を挟んで大峯修験者の碑(1300年代)や[光明真言の碑](#)(1662年)がある。ここでは神仏が融合している。

帰り際、雨が強くなってきた。

微妙にやさしい優雅な声…

一切のものを守り育てる女神

ニウツヒメがささやいているように聞こえた。

美しい波動を体現したようだった。



ニウツヒメ神社

そこからちょっと寄り道一、  
花園村にある恐竜ランド・極楽洞に寄  
った後、高野山に向かった。  
高野山には昼頃到着。  
大門は霧の中だった。  
そこで杖をついた巡拝者に出会った。  
麓から参詣道(町石道)を登って来たとい  
う。  
今でも、歩いて高野山に登る人もいる  
のだなあ、と感心した。



高野山 大門

結界門の両側に  
刻まれている言葉

【日々の影向をかかさず】  
【怨々の遺跡を検知す】

昼食を予定していたごま豆腐店には行列ができていた。

少し待って入店すると、[胎蔵懐石](#)は売り切れ、[金剛懐石](#)をいただいた。

ごま豆腐づくしの精進料理で、とてもおいしかった。

いつしか霧が晴れ、晴天に一。

元気になって、

さっそく[壇上伽藍](#)を参拝一。

普通は見れない内陣の諸仏を観想しながら巡拝して行った。(内陣参考図書)



金剛懐石

それにしても、海外からの旅人が多い  
…。

次に、総本山・[金剛峯寺](#)を拝観。

見たかった[断崖](#)も鑑賞し、宿坊に向  
かった。

山内には寺院が117、その内51寺  
が宿坊を兼ねている。今回は、少し条  
件を言って[高野山宿坊協会](#)にお任せし  
たところ「[宝善院](#)」を紹介してくれ  
た。そこはなんと「丹生一族」ゆかり  
の寺で、奥之院の入口を護っているか  
のような寺院だった。



宝善院 小堀遠州作の庭園

高野山で一番古い庭園があって、昔ながらの宿坊という感じがした。

一時、住職さんと話をする中で、宿坊の経営も大変だなあと感じた。

今年は弘法大師空海ご誕生1250年の年-

標高千m近く、聖地高野山の夜は、日常を離れて霊域の中に心を休ませ、静かで安らかな時に身を横たえるようだ



高野山風水図／元:国土地理院地図

翌日、早朝5時に起床、  
一の橋から空海が入定されている奥の  
院へは約2 km。

まだ明けやらぬ中、参道の両脇には杉  
の大木がそびえ、無数の供養塔や墓標  
が薄闇に浮かぶ。

霊気漂う参道を歩いてゆく。

宿坊でも朝の勤行はあるけれど、もっ  
と間近に大師の存在を感じてみたく、  
毎朝6時から行われる奥之院での勤行  
に参加した。



早朝の奥之院参道／小さな光体群はオーブ？

大師御廟の御前、燈籠堂の中に僧侶の  
厳かな読経が響く。

その中で唱えられる理趣経は「大楽と  
空」の教えて、「一切の法は清浄な  
り」という句の一つに「(男女交合)の  
妙なる恍惚感も、清浄なる菩薩の境地  
である」という句がある。

空海の密教は、この身このままで成仏  
できると説く(即身成仏)。無知や欲望  
から高き意識へと修行を重ね、この世  
界で生きる歓びを謳歌する教えだと言  
われている。



御廟橋の向こうが、空海が入定している奥之院

燈籠堂での勤行(ごんぎょう)には 10 名ほど一般参加されていた。

となりに座っていた方は、ずっと合掌したままで、祈り続けられていた。

(約 1 時間)

勤行が終わる頃、外は明るくなっていた。

まるで別世界にいたような感じで、幽玄な風に揺られていた。大師と共に深山を護る精妙なニウツヒメの舞いも秘かに伝わってくるようなひと時であった。



参道の両側には杉の大木、無数の供養塔やお墓

来た道を帰り、一の橋に戻った瞬間、アラレが降ってきた。やがて雪となって、寺院の屋根や山々に積もりはじめた。

天の声、地の声…すべてが宇宙の根源・大日如来のはたらき…。

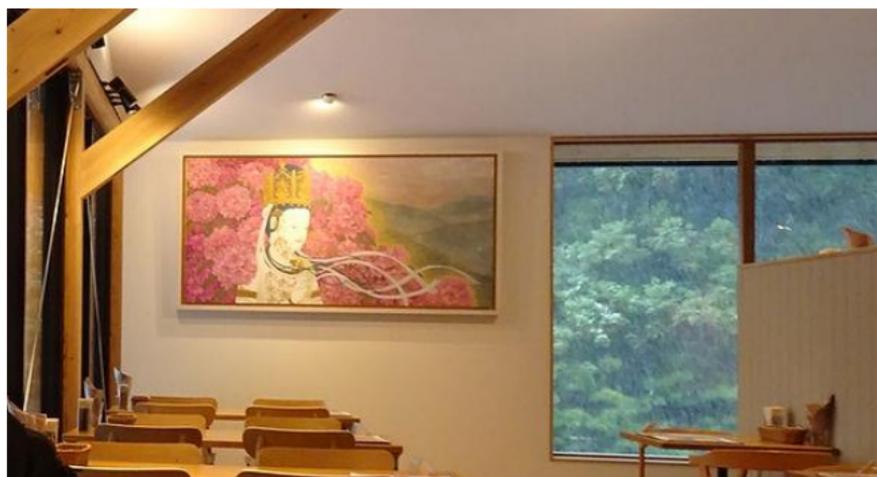
朝食後、宿坊を出て、今度は中の橋から奥之院へ参拝することにした。

紅葉も過ぎて、11月中旬、降りしきる雪の中、杉木立も参道も周りの景色もすべてが美しく見えた。奥之院では先祖供養の燈明を申し込んだ。



杉木立に降る雪

帰り、参道近くに今年開店された「天風テラス」で休憩、  
降る雪を眺めていた。  
雪はだんだん激しくなってきた。  
休憩後、密教美術の宝庫と言われる霊宝館へ。  
真別所から発見されたという1万個を  
越える小さな奉納五輪塔に感銘。  
記念にポストカードなどを買った。  
最後に、吹雪の中の「根本大塔」と  
「御影堂」を撮影した後、なごりを惜  
しみながら高野山を後にした。



天風テラス(美しい大日如来の絵)

やっぱり旅はいいなあ。これからも機会があれば、聖地巡礼に出かけたい。  
2023.11(桃色は資料、青字には link があります)



※2 日間の旅を収録した動画

[「\*\*霊峰高野山 Japanese Shambhala\*\*」](#)  
(YOUTUBE)をお楽しみください。

# ● 1250歳の超人(2023)



伝承によると、

弘法大師・空海(774～835年)は  
今もなお、高野山の奥の院で  
瞑想を続けている。

空海の場合「入滅」ではなく「入定」  
と呼ばれ、高野山の大門の左右には

●日々のようごう影か向を闕かさず

●処々のゆいせき遺けんち跡を検知す

という言葉が掲げられている。

17世紀の遍路者、真念法師は、巡礼  
者が空海と出会い靈験を得た出来事を  
四国偏礼功德記に記している。

「身を高野の樹下にとどめ、魂を兜率(※)の雲上にあそばしめ、所々の遺跡を検知して、日々の影響をかかずとあり。ご遺跡へは大師日々御影響あるにより、八十八ヶ所の内、いづれにてぞは大師に直にあひ奉るといひなせるは此よりなり…」(※とそつ天とは未来仏・マイトレーヤが住む浄土)



空海展の本表紙…香川県立ミュージアム

四国最南端の足摺岬に行く途中にある真念庵には次の碑がある。

いざりたち、めくらがみたと、  
おしがいい、つんぼがきいたと、  
おしこくのさた

…今年、空海が誕生して1250年、四国各地で記念行事が行われている。

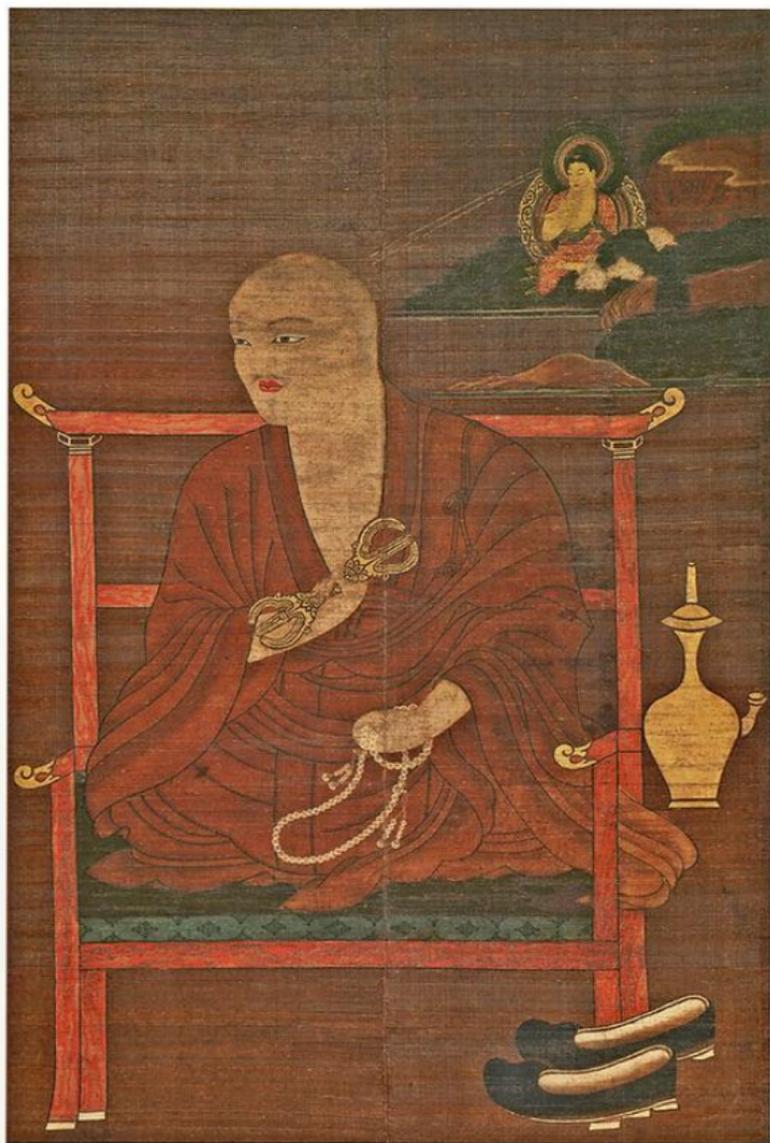
その一つ「空海展」を見に香川県立ミュージアムへ行った。

国宝や重要文化財、空海が行状絵巻や初公開という「木像」、大きな掛け軸に等身大の「空海肖像画」が何種類も展示されてあって、圧巻だった。

「善通寺御影」の空海の目は鋭く、釈迦如来が後方から光を発している。どれが本物の空海に近いのだろうかとながめていた。

調べてゆくと、平安時代に弟子たちが

描いたという「高野山御影堂」に安置  
されている肖像画(秘仏)が大元になっ  
ているらしい。



弘法大師像(普通寺御影) 香川龍立美術館蔵

大きな両界曼荼羅の部屋で、今の社会に空海大師がいたら、どんな活動をされるだろうかと思い巡らせる…。

空海の誕生地、第75番「善通寺」では、秘仏「瞬目(めひき)大師」の御開帳が行われていた。

お坊さんの説明によると、空海が中国へ密教を学びに行く前、善通寺の池に映った自分の姿を描いていた。夕暮れ迫り暗くなった頃、後方の捨身ヶ岳から釈迦如来が出現されて光を照らしてくれたので描くことができたのだという。



善通寺本堂から大師堂に続く参道 後は善通寺五岳

なるほど、30歳くらいの若々しい面持ちである。慈悲と聡明さに満ちている。

数珠を繰りながら祈り、仏陀に守護され、五鈷(大日如来の五智)より救いの光を放つ。

後日、鎌倉時代の天皇がその空海像を見ていると、一瞬まばたきをしたことから「瞬目大師」として伝承されているとのこと。(秘仏なので写真は出せない)



その日はチベット密教展も行われていて、後期密教の仏像も拝観することができた。

日本にはないグヒヤサマージやダーキニーの像。

そのあと、四国八十八ヶ所霊場会の事務局へ行って、今年の特別品「修行大師」の絵画をいただいた。

…近年、空海密教に親しみやすくするためか、ガチャポンの空海キャラクターや温泉の元(第七番安楽寺)、バッグ等の限定記念グッズ、

**四国お遍路**  
それは豊かな自然と出会い、心持ちと出会い、自分自身と出会う旅

四国お遍路 高札の路  
伊予 土佐 阿波 讃岐

四国八十八ヶ所巡り「心のふるさと」

■ 四国四県に点在する礼拝することを「お遍路」四国の人々は、巡礼からお遍路さんに親しみ知らぬ人からの挨拶ですが、その行為に對します。へんろ文化と

弘法大師 聖誕生1250年記念 特別企画

修行だいしソフビ仏

弘法大師聖誕生1250年記念、四国を巡るお遍路さんをイメージしたソフビ仏です。日本全国から集まったお遍路さんの中から選ばれた方々のカラーデザインを採用しています。

**ソフビ仏 修行だいし**  
全5種 1カプセル 1個入り

- 持だいし
- お遍路だいし
- 参だいし
- 旅路だいし
- 実だいし

不安に感じておいて信仰心の芽生えができていないと、お遍路さんに

「まお様(空海の幼名)」のマスコット人形なども販売されている。とてもかわいい。車に飾って同行二人一。



今なお、山を愛し高野山で禅定に入っている空海大師、救済の旅を続けているその意識にふれてみたい。

∞

∞

∞

雲の向こうの青い空に  
ただ見入ることによって 静寂が

∞

∞

∞

この空間を  
自分自身の至福の体と考える

∞

∞

∞

体への同化を投げ捨て  
「私はあらゆるところにいる」  
と認識する

∞

∞

∞

あらゆるところにいる者は  
喜び楽しむ

(ヴィギャン・バイラブ・タントラ/和尚)

今年巡礼すると、色々な記念品が用意されている。

[四国八十八ヶ所霊場会のホームページ](#)には、  
[記念事業の案内](#)、

各霊場の「[88大師メッセージ](#)」、

空海の生涯を絵にした「[88大師カード](#)」

一覧が掲載されていて、行かなくても四国遍路  
巡礼者にはありがたい。

読み進めると、空海密教の更なる修行を深めることができる。(下記にリンクがあるのでぜひ読んでみてください。)

○四国八十八ヶ所霊場会

⇒ [88大師メッセージ](#)

⇒ [88大師カード](#)

⇒ [1250年記念事業](#)

○総本山善通寺(動画)

⇒ [空海とわのいのり](#)

○報道(動画)

⇒ [KSB 瀬戸内海放送](#)

○KuuTube 高野山(動画)

⇒ [仏像解説:弘法大師御影](#)